

<p>《高知県の教育の基本理念》</p> <p>(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち</p> <p>(2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材</p>	<p>学校像</p> <p>(1) 高知県東部地域における唯一の特別支援学校として、知的障害のある児童生徒の生活自立と社会自立を目指す一貫した教育を行う。</p> <p>(2) 障害のある児童生徒の健全な育成を目指し、地域・医療・保健・福祉・労働等の機関との地域連携に寄与する。</p> <p>(3) 特別支援学校のセンター的機能を目指し、地域の特別支援教育の発展と充実に寄与する。</p>	<p>児童生徒像</p> <p>(小学部) ①健康な体づくりができる児童、②基本的生活習慣を身に付けた児童、③友達や集団との関わりの中で共に育ち合う児童、④いろいろなことへの意欲を高め、主体的に活動する児童</p> <p>(中学部) ①健康の保持増進、体力の向上を図る生徒、②基本的生活習慣の確立ができた生徒、③様々な生活体験や集団活動を通して、社会生活に必要な基礎的な力を身に付けた生徒、④主体的に人や物と関わる経験を積み、働く力の基礎を身に付けた生徒</p> <p>(高等部) ①社会生活に必要な体力の増進及び健康を維持・管理する力を身に付けた生徒、②基本的生活習慣や社会性を身に付け、豊かな人間性のある生徒、③社会生活に必要な知識、技能、態度を身に付けた生徒、④働く意義を理解し、働く意欲のある生徒</p>	<p>目指すべき取組姿の概要</p> <p>平成29～31年度までの中期目標</p> <p>○柱Ⅰ キャリア教育の視点を重視した授業改善 ・小・中・高等部の授業交流 ・生活単元学習の授業改善</p> <p>○柱Ⅱ カリキュラム・マネジメントによる教育の質的・継続的な向上 ・一貫性のある各種指導計画等への改善と実施 ・系統性のある教育課程の改善に向けた組織的な取組</p> <p>○柱Ⅲ 地域と連携した南海地震対策の推進 ・スクールバスの南海地震対策 ・広域福祉避難所の設置・運営に関する校内体制の整備</p>
--	---	--	---

《重点取組項目》

(評価 A: 目標を十分に達成 B: ほぼ目標を達成 C: やや不十分 D: 不十分)

項目	目標【P】	現状(●)と目標(○)【評価指標】	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【PD】	年度末評価【C】	学校関係者評価	見直しのポイント【A】
<p>柱Ⅰ キャリア教育の視点を重視した授業改善</p>	<p>(1) 小・中・高等部で系統的な基本行動の取組を行う。</p> <p>(2) 小・中・高等部の生活単元学習の中に「地域とつながる」単元計画を盛り込み、生活単元学習の充実を図る。</p>	<p>●基本行動に関する基準ができていないが、学部・学級では、指導を始めている。(自分から挨拶ができてきている児童生徒67%)</p> <p>○小・中・高等部で基本行動(挨拶・身だしなみ、掃除)の基準に沿った、系統的な取組を行う。</p> <p>(全校集会等での「挨拶」、「掃除」の表彰者は、各学部の児童生徒の1割以上)</p> <p>●防災教育を通して地域住民との連携が取れ始めた。校内で培った力を地域で生かす活動に広げていく視点が必要である。</p> <p>○全学部・学級で「地域とつながる」生活単元学習を1単元以上実施し、単元系統表の検証を行う。</p> <p>(実施状況の把握及び授業評価結果の検証を行う)</p> <p>●単元系統表に基づいて、小学部から高等部まで計画的に防災学習に取り組んでいる。(単元系統表を活用して防災学習に取り組んだ56%)</p> <p>○生活単元学習での防災学習の定着を図る。</p> <p>(防災学習における児童生徒の授業前後のチェックリストの定着率75%以上)</p>	<p>◇基本行動の取組の基本方針を策定する。</p> <p>◇「基本行動の全体計画」、「基本行動の単元系統表」、「取組の年間指導計画」に基づく指導を行う。</p> <p>◇「挨拶」、「身だしなみ」、「掃除」のチェックリストに基づいた評価を行う。</p> <p>◇「挨拶」、「掃除」の校内検定を行い、基準を満たした児童生徒を全校集会等で表彰する。</p> <p>◇「地域とつながる」生活単元学習の単元系統表を作成する。</p> <p>◇年度初めに研究方針、研究計画(実施方法)を周知する。</p> <p>◇各学部で「地域とつながる」単元計画を立て、単元系統表に基づいた授業を行う。</p> <p>◇「地域とつながる」生活単元学習の研究授業を学部ごとに実施する。</p> <p>◇研修日を設定し、校内研修、授業研修(全体研修会、グループ研修会)を関連付けて計画的に実施する。</p> <p>◇若年教員を研究発表者に充てることを廃止する。</p> <p>◇「地域とつながる」生活単元学習の校内研究発表会を1回実施する。</p> <p>◇防災学習の単元系統表に基づき、毎学期1単元以上の防災教育を計画的に実施する。</p> <p>◇防災参観日を1日実施し、全学部・学級で防災学習に取り組むとともに、その中で代表者による研究授業を1回実施する。</p> <p>◇高知県教育委員会主催の防災教育研修会で、「平成30年度実践的防災教育推進事業」における実践発表を行う。</p> <p>◇校内で「平成31年度実践的防災教育推進事業」の取組について発表を行う。(実践委員他外部関係者の参加も)</p>	<p>・基本方針に関しては、現在作成中である。</p> <p>・取組の年間指導計画に基づく指導に関しては、取組を継続している。</p> <p>・「挨拶」「身だしなみ」「掃除」のチェックリストに基づいた定期的な評価を行い、基準を満たした児童生徒の表彰を行った。</p> <p>・清掃検定に関しては、2回実施した。</p> <p>・「地域・探求」をキーワードに開かれた教育課程づくりの実現を図るため、公開授業、研究授業の中で、3観点を重視した授業評価の実施を行った。</p> <p>・校内研修、授業研修に関しては、計画通りに実施できている。</p>	<p>・基本行動の取組の基本方針を完成させる。</p> <p>・校内検定の実施を引き続き行い、表彰を行う。</p> <p>・継続して地域とつながる生活単元学習の研究授業を実施する。</p> <p>・校内研究発表会の実施を行う。</p>	<p>・挨拶運動を月に1回1週間、生徒会を中心に実施し、定着を図った。(自分から挨拶できていると思いますか。そう思う→68%) (保護者: 学校は、挨拶や返事などの指導が適切にできていると思いますか→70%)</p> <p>・清掃検定は5回実施し、6人を表彰し、意欲付けを行いながら清掃のスキルを身に付けることができるようにした。</p> <p>・技能検定には6人が参加。そのうち、3名が1級を取得。</p> <p>・各学期に「挨拶名人」を認定し、6人を表彰した。</p> <p>○基本行動の取組方針を10月に作成し、教職員で周知徹底を図りながら取組の推進を図り、子供たちも意識的に指導を行うことができた。</p> <p>・校内研修会では地域とつながる生活単元学習を行っている先進校から講師を招聘し、日々の授業に活かすことができた。</p> <p>・授業評価シートを丁寧に記録することで、次時の授業改善につなげることができた。</p> <p>・校内発表会に関しては、年度末に計画している。</p> <p>・(教員: あなたは、生活単元学習の中で、「地域とつながる」単元を設定し、授業の充実を図ることができたと思いますか。そう思う→40%、少し思う→47%)</p> <p>○研究部を中心としてテーマに即した実践を積み重ねることができたが、生活単元学習としての目標設定や評価の在り方に課題が残された。来年度は、この改善を意図的に取り組みたい。</p> <p>・防災参観日の実施、防災教育研修会での実践発表など計画通りに実施することができた。</p> <p>(教員: あなたは、本校が地域と連携のとれた防災教育を行っていると思いますか。①教員 そう思う→43%、少し思う→49% ②寄宿舎指導員 そう思う→67%、少し思う→24%)</p> <p>・授業の定着率91%を達成することができた。</p> <p>○全校において計画通り系統表に基づいた防災教育を実施するとともに、児童生徒の防災意識の向上も図ることができた。</p>	<p>・子供はよく挨拶などできていると感じるが、教員が十分でない点が見られるので、教員が率先してやってみせるといったことが必要である。</p> <p>・生活単元学習の取組は、課題も残っているため、来年度も引き続き課題解消に向けて取り組み必要がある。</p> <p>・社会福祉法人等と連携をとった防災に対する取組も今後考えることができるのではないかと意見も出された。</p> <p>・高知県学校安全優良表彰を受けるなど、充実した取り組みを実施することができた。</p>	<p>・基本行動の取組方針に基づき、取組を徹底して行う。</p> <p>・目標をより具体化して検証できるようにしていく。</p> <p>・次年度のグランドデザインに基づき、生活単元学習のイノベーションによる課題単元重視の単元計画の策定を行い、授業改善を図っていく。</p> <p>・「地域・探求」をキーワードに社会に開かれた教育課程づくりに沿った学習内容を展開していく。</p> <p>・継続して、系統表に基づいた防災教育の実施を行っていく。</p>
<p>上育マ柱 のネジ 専門的 メカニ 性・ン キ向 続に キュ ム 向 教</p>	<p>小・中・高等部の系統性のある教育課程の改善に向けた組織的な取組を行う。</p>	<p>●定期的に教育課程検討委員会を開催することができず、新学習指導要領への移行に向けた教育課程の改善が遅れている。(H30年度3回開催)</p> <p>○年間の教育課程検討委員会のサイクルを確立し、運営改善及び機能の充実を図る。</p>	<p>◇教育課程検討委員会の運営方針及び年間計画に基づいた会の運営を行う。</p> <p>◇2020年度小学部、2021年度中学部、2022年度から年次進行で高等部の学習指導要領が実施されることを受けて、教育課程の見直しを行う。</p> <p>◇2020年2月の運営委員会までに、2020年度の各学部の教育課程を決定する。</p>	<p>・教育課程検討委員会を定期的に実施し、次年度からの教育課程に関して議論を深めている。</p> <p>・文部科学省主催の高等部の学習指導要領改訂に関する説明会に教務部長が参加し、今後校内での周知を図っていくこととしている。</p>	<p>・教育課程検討委員会の決定事項を踏まえ、各学部の教育課程を決定する。</p>	<p>・教育課程検討委員会を月に1回開催することができた。</p> <p>(教員: 学校は、教育課程検討委員会などでの協議を踏まえ、教育課程の改善に向けた組織的な取組を行っていると思いますか。そう思う→37%、少し思う→46%)</p> <p>○新学習指導要領を踏まえた教育課程、個別の指導計画の様式の改善及び児童生徒の実態把握の方法の改善を行うことができた。</p>	<p>・定期的な検討委員会を開催し、教育課程の見直しができていた。</p>	<p>・「成長の記録」による児童生徒の実態把握を行い、3観点に基づく授業改善を実施する。</p>
<p>柱Ⅲ 校地 定域 と連 携し た南 海地 震対 策の 推 進</p>	<p>(1) ハザードマップを活用したスクールバスの避難訓練を行い、関係機関との連携を図る。</p> <p>(2) 広域福祉避難所の設置・運営訓練を実施し、地域住民及び関係機関との連携を強化する。</p>	<p>●スクールバス(3コース)で運行経路上の避難訓練を各1回ずつ実施した。(児童生徒の防災意識の向上につながった35.7%)</p> <p>○スクールバスの避難訓練を行うことで、児童生徒及びバス会社の避難行動及び避難誘導における対応力が向上する。(H30年度の避難訓練とは異なる状況及び避難場所での訓練を各コースごとに1回以上実施)</p> <p>●児童生徒が、広域福祉避難所開設・運営訓練に主体的に役割をもって取り組めた。(児童生徒及び教職員の広域福祉避難所の理解が深まった29.8%) (本校が地域とつながる防災教育ができていた41.7%)</p> <p>○地域住民と連携した広域福祉避難所開設・運営訓練を実施する。(地域と連携した防災意識の向上50%以上)</p>	<p>◇スクールバス通学生全員を対象とした登校時の避難ビルへの避難訓練を実施する。(校内訓練→運行経路上の土地の低い場所での避難ビルへの訓練へと段階を高めていく)</p> <p>◇スクールバス内に「山田特別支援学校スクールバス」の掲示を行い、地域住民にスクールバスが運行していることを周知する。</p> <p>◇本校ホームページや香美市の広報等にスクールバスの運行状況を掲載し、地域住民に理解啓発を行う。</p> <p>◇スクールバス運行経路上の市町村の防災課等と連携がもてるよう協議を行う。</p> <p>◇山田さんだん安心メールを登録する。保護者85%、教職員100%の登録</p> <p>◇4市町の広域福祉避難所設置・運営マニュアルに基づき、本校の対応について、教職員の役割分担を明確にしたうえで、訓練を実施する。</p> <p>◇赤十字奉仕団員を中心とした近隣の地域住民との連携を目的に、寄宿舎の夜間又は早朝時の発災を想定した広域福祉避難所開設・運営訓練を実施する。</p>	<p>・スクールバス通学生全員を対象とした避難訓練は、11月25日(月)に実施予定としている。</p> <p>・バス内に「山田特別支援学校」の掲示を行った。</p> <p>・山田さんだん安心メールの登録は、保護者が60パーセント、教職員が75パーセントとなっている。</p> <p>・気象状況により必要に応じて教員が福祉避難所の開設準備を行うこととした。</p>	<p>・ホームページへのスクールバス運行等の情報をアップする。</p> <p>・安心メールの登録率の向上を図るため、周知徹底を行う。</p> <p>・寄宿舎での、地域と連携した避難訓練を実施する。</p>	<p>・スクールバス校外避難訓練では、通学生全員が介助員と共に、スムーズに高所への避難を行うことができた。</p> <p>・山田さんだん安心メールへの登録は、保護者が70%、教職員は90%の登録率となった。</p> <p>(教員: 学校は、スクールバス生の安全を確保するために、フレンドシップデイ、校内の避難訓練、校外各コース別の運行経路上の避難訓練へと段階を追った訓練を実施してきました。これらの訓練は、児童生徒の防災意識の向上につながったと思いますか。そう思う→39%、少し思う→57%)</p> <p>○ハザードマップを用いた避難訓練などを行いながら、地域との連携を図ることができたが、安心メールの登録率や、ホームページ編への情報アップなどの取組は不十分であった。</p> <p>・寄宿舎では地域と連携した避難訓練を実施することができた。(舎指導員: 児童生徒の防災意識の向上につながったと思いますか。そう思う→81%、少し思う→14パーセント)</p> <p>・気象状況による福祉避難所開設準備は行うことができていない。</p>	<p>・安心メールの登録率の向上に引き続き取り組む必要がある。</p> <p>・個別の声掛けや非常勤職員への周知徹底を図る必要がある。</p> <p>・リアルタイムでの情報発信などが行われており、システムはとも有効に活用されている。</p> <p>・今後も継続した取り組みが必要である。</p>	<p>・安心メールへの登録は、定期的に保護者に継続して呼びかけ、利点を公報していく必要がある。その結果として、登録率の向上を図る。</p> <p>・避難訓練マニュアル及びハザードマップの活用に関する周知を行う。</p> <p>・津波避難訓練に関しては、関係機関との連携の強化及び拡大を検討する。</p>
<p>働き方改革</p>	<p>(1) 行事の精選を行う。</p> <p>(2) 会議の精選を行う。</p>	<p>●H30年度に教職員を対象に学校行事に関するアンケートを実施したが、結果の分析や精選する行事の絞り込みができていない。</p> <p>○行事の精選を行い、教職員の学校評価アンケートにおける児童生徒と向き合う時間が増えたと感じる割合を50%以上にする。</p> <p>●職員会議の見直しを図ったが、仕事の効率化や子どもたちと向き合う時間の確保につながっているとは言いがたい。</p> <p>○会議の内容や取り組み方の検討を行い、教職員の学校評価アンケートにおける児童生徒と向き合う時間が増えたと感じる割合を50%以上にする。</p>	<p>◇アンケート結果に基づき、精選する行事を絞る。</p> <p>◇精選を行う行事の目標を具体化し、達成度を図ることができ目標を設定する。</p> <p>◇各行事の目標の達成度を把握し、継続・改善・中止レベルを設定し、基準に沿った行事の精選を行う。</p> <p>◇改善レベルは、取組内容や取組方法の見直し及び行事間の統合など様々な視点をもって検討を行う。</p> <p>◇会議のルールをつくる。(管理職決裁の期限、データの会議フォルダへの取り込み期限、会議の進行手順、ゴール設定、会議資料の事前配布、記録の公表など)</p> <p>◇会議の目的、参加者、開催日時、開催場所及び内容検討、成果検討を行い、不必要な会議を減らす。</p> <p>◇定期的な会議は、年間計画に基づいて行う。(臨時に行う会議を減らす)</p>	<p>・アンケート結果に基づき、精選する行事の検討を行っている。</p> <p>・会議の精選を行った。</p>	<p>・検討結果を踏まえて、具体的に次年度の行事計画を作成する。</p> <p>・各委員会などの整理統合を行い、会議数の減少を図る。</p>	<p>・行事の精選に関して、教育課程検討委員会と協議を行うとともに、保護者に対してアンケートを実施し、現状の把握を行った。また、その結果をPTA役員会などで周知を行った。(保護者: 学校は行事精選を行い、子供たちと向き合う時間の確保を行っていると思いますか。 そう思う→59% やや思う→30パーセント)</p> <p>・職員会の議題を事前に精選を行い、会の開催時間の短縮を図ることができた。(長い時で30分未満)</p> <p>・運営委員会では、報告事項のみの場合に開催せずに、回数の軽減を図った。</p> <p>・臨時での会議の開催は行わなかった。</p>	<p>・アンケートなどに基づき、行事の精選は行われた。</p> <p>・魅力ある職場づくりを構築してはまい。</p> <p>・他県の学校での効率化、精選を精力的に行っている学校の情報収集を行い、活用を図る必要がある。</p> <p>・周知のみでなく、最後まで徹底して行うことが大切である。</p>	<p>・精選した行事に関して、その後の状態を確認するとともに、各行事の取組内容や取り組み方を再度検討していく。</p> <p>・継続して、会議の開催及び内容検討を行う。</p>